

自立と循環で目指す、一流の田舎

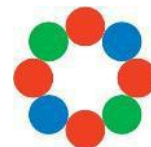
2024年2月10日 SDGs学生サミット



南砺市 総合政策部 エコビレッジ推進課



こんにちは「南砺市(なんとし)」です



- 南砺市は、富山県南西端に位置し、美しい散居村が広がる平野部から世界遺産「五箇山合掌造り集落」を有する山間部まで、豊かな自然の中に懐かしく美しい、日本の原風景が息づくまちです。
- この地では、豊かな自然の恵みをいただき、大自然に感謝する心や相手を思いやる気質といった精神的風土(土徳)が根付いています。
- 豊かな風土の中で、多様な伝統文化や食文化、芸術文化など、かけがえのない資源が息づいています。



五箇山合掌造り集落
(相倉集落)



散居村が広がる風景

- ・人口 47,413人(住基、R5.4)
- ・面積 668.64km²
- ・主要産業 アルミニウム、橋梁・建築建材、工作機械等の製造業、農業
- ・世帯数 17,501世帯
- ・高齢化率 39.4%

市民が誇り・つなぐ南砺の伝統



五箇山（相倉・菅沼）
ユネスコ世界文化遺産



城端曳山祭
ユネスコ無形文化遺産



福野夜高祭
日本ユネスコ協会連盟
プロジェクト未来遺産



木彫刻のまち・井波
日本遺産(文化庁)

年間**345万人**の
観光客が来訪！

来訪された方が感じる魅力

食、お土産、人

※ **9割以上**がリピートを希望



平・上平の自然
白山ユネスコエコパーク

南砺市での“体験”の魅力で多くの方がリピーターに

○五箇山和紙の里

- 和紙紙すき体験が外国の方、市内外の学生にも大人気
- 紙すき体験利用者
年間 約6,000人
(うち外国人 約4,000人)



○BED and CRAFT

- 古民家ゲストハウスでのクラフト体験（彫刻、漆塗り）が人気。3店舗に拡大。
- 外国人の利用増が、日本人の利用増につながっている。





市民も来訪者も癒す南砺の自然

南砺の自然の豊かさは、子どもからお年寄りまで市民全員が認め、誇る資源です。この自然とのふれあいを求め、市内外から多くの方が来訪されます。

桜ヶ池公園（自然散策・遊具・桜名所）

桜ヶ池を中心とした公園。散策やキャンプ、遊具広場の他に、隣接するミシュラン一つ星の料理店や地場産にこだわったお店も人気。城端SAに隣接。



閑乗寺公園（眺望スポット・キャンプ場）

八乙女山（やおとめやま）の麓にある高原。市街地から10分というアクセスの良さと散居村を一望できる眺めでキャンプや眺望スポットとして人気。



登山・トレイルラン・クロスカントリー

南砺市の市域の8割を占める山林地帯では、登山やトレッキング、クロスカントリー、最近ではトレイルランに多くの方が親しむ。



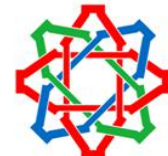
ボート・マラソン・自転車

市内を縦横に走る国県道沿いに景勝地や文化財が並び、また桂湖や河川を含め、豊かな自然と文化を求め、多くの方が訪れる。

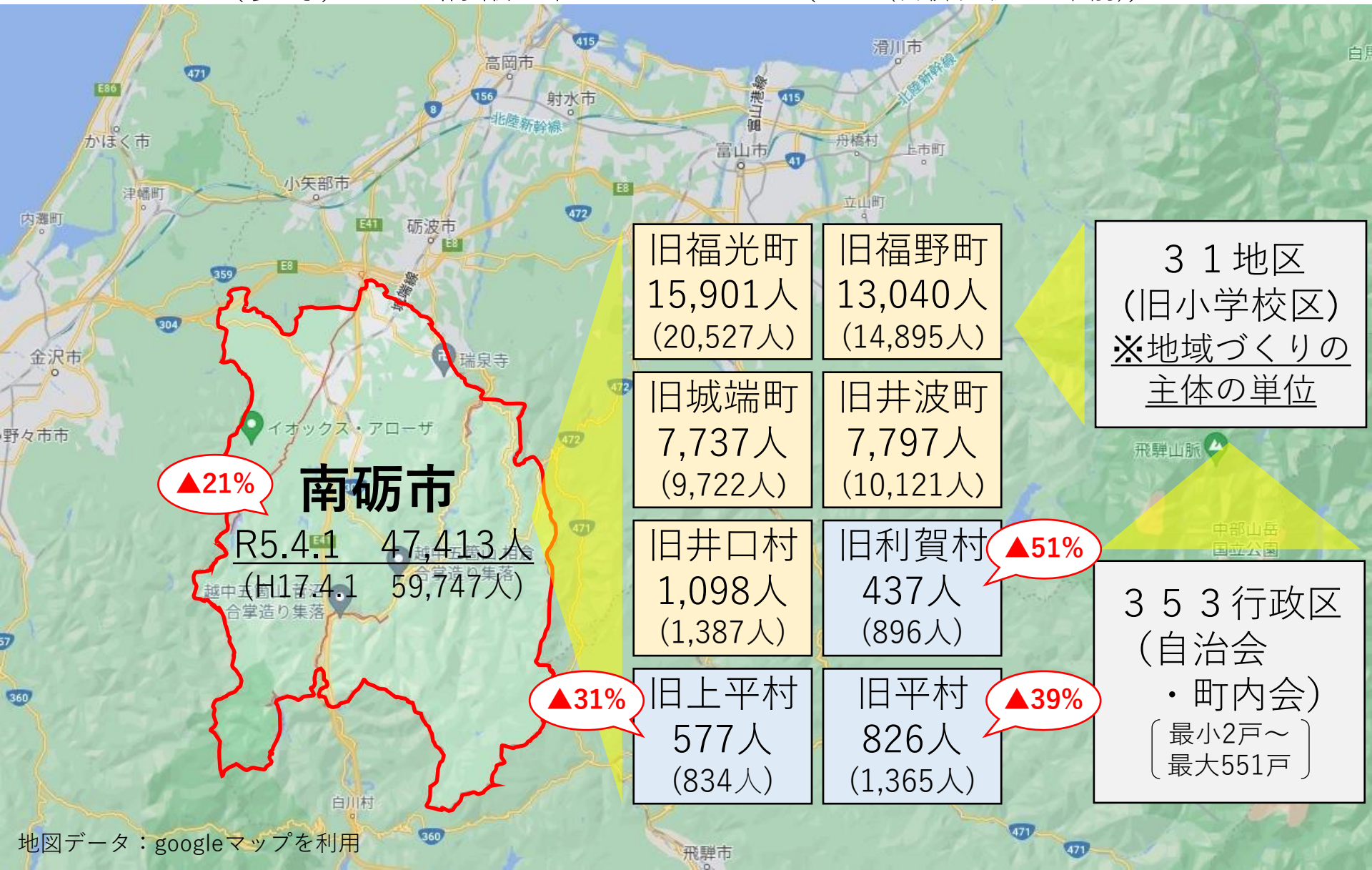




南砺市の地域コミュニティと人口



(参考) 人口情報：住基人口R5 (H17(合併直後:18年前))



3 1 地区
(旧小学校区)
※地域づくりの
主体の単位

3 5 3 行政区
(自治会
・町内会)
〔最小2戸～〕
〔最大551戸〕

今後想定される地域課題

本市人口ビジョンでは、2060年の人口を22,588人、高齢化率を約48%と推計しています。少子化・高齢化の進行と若者世代を中心とした市外への転出が今後も続くと考えており、次のような**社会課題**を想定しています。

分野	根幹となる課題	各分野固有の課題
経済	人口減少 少子高齢化 若者世代の転出	<ul style="list-style-type: none"> ・就業人口の減少 ・経済成長の鈍化 ・伝統産業の衰退
社会	↓ 若い女性の減少 (子どもの減少に直結)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、交通インフラなどの住民サービスの縮小、廃止 ・集落(支え合いの基盤)の弱体化
環境	気候変動	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業の担い手不足 ・森林の荒廃 ・不在地主の増加

**地域の衰退
集落の消滅
危機**

南砺らしい暮らしを楽しみ 目に見えない豊かさが実感できる「一流の田舎」へ

地域資源の活用で生み出した資金を地域づくりへ

経済 「やりたいこと」が「できる」地域を実現



取組 伝統ある地場産業とコンテンツ産業による地域経済の活性化

産業創出

人材育成

森林活用

土徳文化
文化伝承や発信による地域の誇り醸成

三側面をつなぐ統合的取組
相互補完・循環

南砺幸せ未来基金
活動資金や人的ネットワーク等を支援

小規模多機能自治
住民参加による真の住民自治の再構築

社会

心豊かで安心して暮らす社会、人と出会い・深くつながるまちを実現



取組

地域の伝統文化と南砺らしさを継承し 全ての人々が健康で安心して暮らせる社会の構築

観光歴史

医療介護福祉

住宅

教育

環境 豊富な地域資源を最大限活用した循環型社会形成



取組 地域資源を活用・循環させ ワクワクする「懐かしい未来」を実現

エネルギー

廃棄物活用

人材育成

地域資源を活かしたエネルギー事業で地域経済の活性化へ

南砺らしい暮らしの提案や学びが進み 自然との共生や環境負担が少ない暮らしへ

三側面をつなぐ統合的取組①

南砺の土徳文化、
支え合いのまちづくり
(SDGsの普及啓発)

SDGs普及啓発の取組

【取組のポイント】

- 南砺市におけるSDGsへの取り組み
= **地域課題の解決**（令和4年度市民会議）
- 行動を拡大し繋ぎ合わせる
（南砺市SDGs未来都市推進実施計画）

2020年～	2025年	～2030年
STEP 1		
【知る】 <ul style="list-style-type: none">・SDGsを理解し、地域の課題を知る。・「誰もが笑顔で暮らし続けられるまち」の姿を思い描ける。	【考える】 <ul style="list-style-type: none">・自分に何ができるか SDGs の視点で考える。・地域について語り合える「場」で、地域課題を共有する。	
STEP 2		
【行動する】 市民、企業、各種団体、地域、行政のそれぞれができることから取組むことで、身近なところからSDGsの視点に立って行動する。		
STEP 3		
【行動を拡大し繋ぎ合わせる】 既存の事業を横断的に組み合わせたり、行政と市民、企業等が連携して取組んだりすることで相乗効果が生まれ、地域課題の同時解決を図る。		

南砺市SDGs未来都市推進実施計画より

令和5年度の取組内容

地域課題を意識した行動を拡大し繋ぎ合わせるため、

- (1) 地域の企業・団体の活動を可視化
 - ・なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信
- (2) 地域課題を意識した取組、連携を促進する企画の実施
 - ・SDGsカフェ
 - ・SDGs実践ワークショップ

(1) 地域の企業・団体の活動を可視化

なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信

学生や地域おこし協力隊が「なんとSDGsパートナー」へSDGs視点でのインタビューを行い、地域のための事業・活動を紹介する記事を作成し南砺市HPで発信

7月
富山県立大学の学生2名がふくみつつ（写真左）、
得能建設工業(株)（写真右）へ訪問



10月
地域おこし協力隊が「14歳の挑戦」として
職業体験中の中学生3名と一緒に(株)谷口板金へ
訪問



12月
富山県立大学の学生2名がFunny's Kitchen（写真左）、
安達建設(株)（写真右）へ訪問 ※記事作成中



記事はこちらのQRコードから
ご覧いただけます



(2) 地域課題を意識した取組、連携を促進する企画の実施

SDGsカフェ

各回テーマを設定し、活動の背景や課題、そこにかかる思いなどを伺い、参加者みんなで緩やかに対話し、気づきや感想を共有しながら、新たな視点やつながりを得ていく「カフェ」感覚の交流会

第1回 地域の居場所



第2回 農業と資源循環



第3回 野生動物との共生



本アイコン画像のビジュアルは、南砺市の福祉事業所「花椿かがやき」の利用者の方によるもので、「ご当地フォント」という仕組みを利用して作成しました。

SDGs実践ワークショップ

地域企業や団体が自らの業務や事業をSDGs目線で整理し、自社も地域や社会もより良くなっていけるアクションを、具体的な地域課題も捉えながら考える2回シリーズのワークショップ

第1回 基礎編

南砺市とSDGs推進に関する連携協定を締結する三井住友海上火災保険㈱の「自社事業SDGsチェックシート」を活用して、自社の強み・弱みを整理し、企業・団体間の連携のあり方を考えました。



第2回 実践編

南砺市の実際の地域課題を捉え、自社の強みを活かして、また異なる強みを持つ他社と連携することで、課題に対してどのようにアプローチできるか検討。



その他のSDGs普及啓発に関する取組

■ 出前講座、ブース出展等による啓発活動

小中学校の授業や地域の研修でSDGsについて学ぶ出前講座を実施。
また、地域のイベント等で体験型SDGsブースを出展



小学校で地域の取組を中心としたSDGsに関する講義



なんとSDGsボードゲームを活用した高齢者向け講座



SDGsカードゲームを活用した中学生への講座



ショッピングセンターでのブース出展

■ となみ青年会議所との連携企画

夢や目標が叶う持続可能な地域を目指して、「夢や目標が叶うために必要なこと」について地域の方の意見をまとめたデジタルパンフレットを制作

■ 富山国際大学との連携

富山国際大学と連携し、学生がSDGs視点で地域づくりを学ぶためのフィールドワークを市内で行い、課題解決につながる提案を発表



市内各地の事業所を訪問するフィールドワークを実施



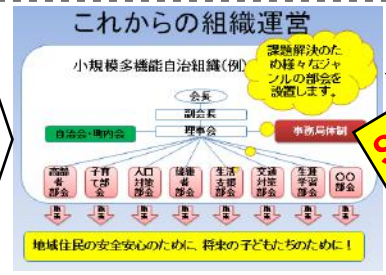
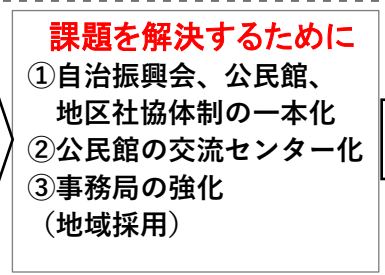
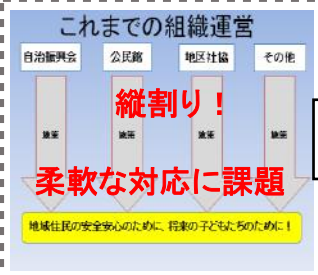
南砺市で提案発表会を実施。提案を受けて学生と一緒に取り組む団体も

三側面をつなぐ統合的取組②

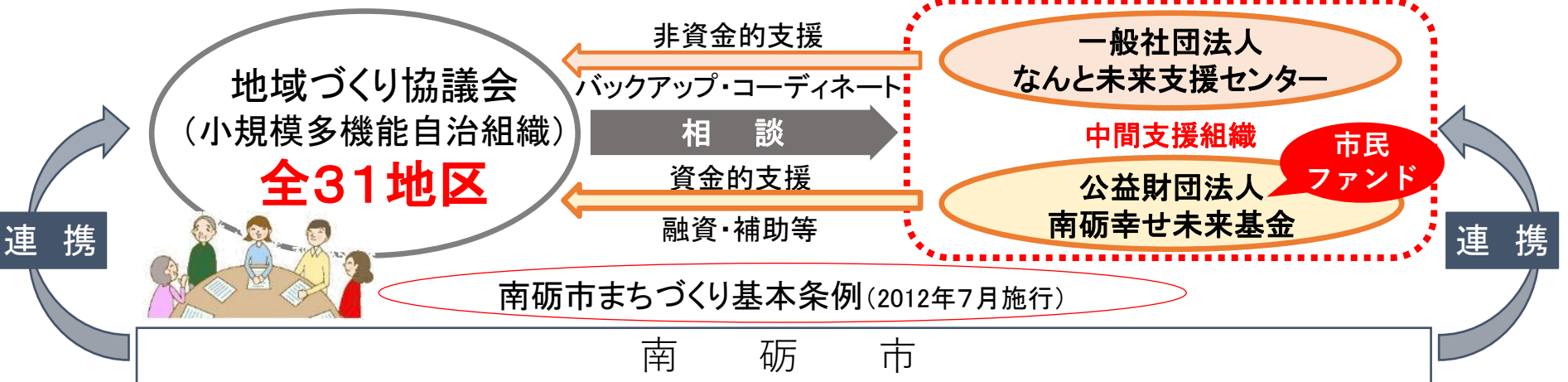
小規模多機能自治の推進

「自分ごと」化で住民自治を再構築

ステップ1 現行の住民自治組織を解体し、新たな組織(地域づくり協議会)へ



ステップ2 地域課題への対応や解決へ向けて実践へ



毎年、各地区取り組み発表会の実施

コロナ禍では、Zoomを活用して各協議会から発表する形で開催。



毎年、地域円卓会議の実施（テーマ：防災、福祉、教育、公共交通など）

コロナ禍では、Zoomを活用して各協議会から参加する形で開催。



地域づくり協議会の抱える課題に対して

聞き取り調査・対応提案 (R3年5～6月、R4年5～7月 なんと未来支援センター)

- 地域課題がまだまだ他人事 →話し合い促進事業や交流イベントの開催
- 空き家の増加 →移住者と空き家のマッチング、空き家予備軍への聞き取り
- 交通弱者の増加 →住民による交通手段の試行、移動販売
- 担い手不足 →地区の枠を超えた連携、若者からの意見、アイデア
- 人材発掘が難しい →地域の団体の整理・統廃合、女性の参画
- 自然災害、除雪対策 →地域全体での要支援者への支援体制
- 健康への不安 →介護予防事業への取り組み
- ゴミ出し支援 →市社協の支援事業との連携、地域全体での支援体制
-
-
-
- その他 地域づくり協議会の活動内容に格差 →取組促進

三側面をつなぐ統合的取組③

コミュニティファンドの創出
(南砺幸せ未来基金)

南砺市内を活動範囲とする 「コミュニティ財団」

* コミュニティ財団 地域性、市民性をもった財団

○地域性

- 👉 全国を対象とせず、地域に根差した組織であること
- 👉 地域が持つ、文化、暮らし、課題に寄り添い地域のための組織であること

○市民性 市民のために市民がつくる

- 👉 特定の企業や個人、行政機関などが設立したものではない、市民立の組織であること
- 👉 市民一人ひとりの課題解決を支える意思が生み出したもの。

「コミュニティ財団」とは？



寄付金

南砺
幸せ
未来
基金

資金的支援
非資金的支援

様々な公益的活動



行政だけに頼らない
新しい住民自治のカタチ

温かく暮らしやすい地域社会

7つのテーマ

- 1) 暮らしを支える事業
- 2) 森里川海のつながりを保全する事業
- 3) 生業・起業・ものづくりを支える事業
- 4) 地域の食と農業を支える事業
- 5) 子ども・若者を支える事業
- 6) 再生可能エネルギーを支える事業
- 7) 地域の歴史・土徳文化を支える事業

【頑張る人・地域応援事業】

地域資源を活かした取組を支援するプログラム。南砺幸せ未来基金が掲げる7つのテーマに沿った事業（上限30万円程度）を募集し、助成を行います。

～ 頑張る人・地域応援事業に採択された取組みの一例 ～



農産物のブランド化の取組み



要支援者宅道の除雪



子どもと子育て世代への情報発信



外国人コミュニティへのコロナ対策支援



シニアカー自動運転まちなか実証実験



伝統文化を次世代への伝承



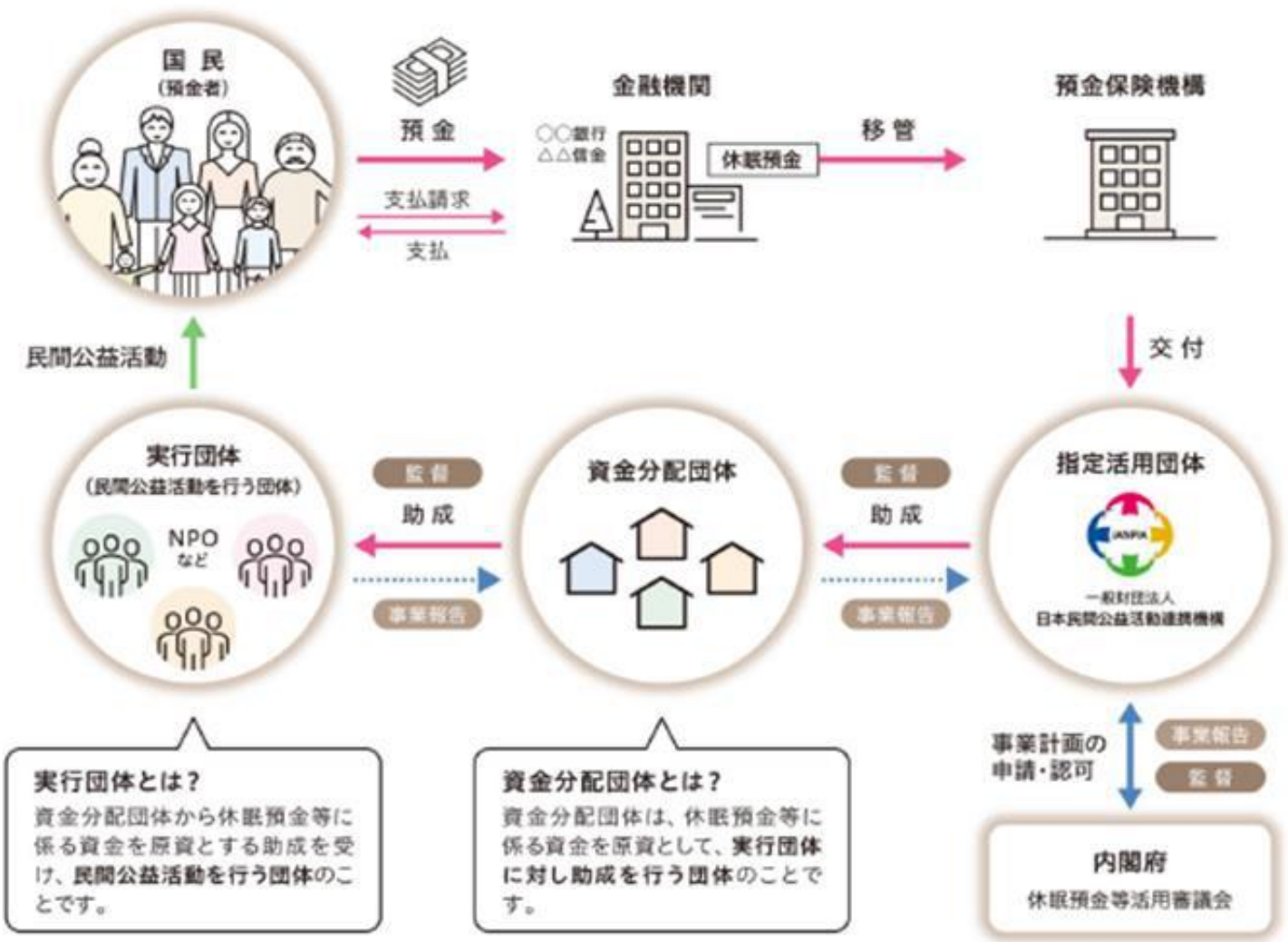
お困りごとなんでも相談窓口の設置

【休眠預金活用等活用事業】

◇休眠預金等 活用とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年法律第101号）」に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度です。

休眠預金等の活用の流れ

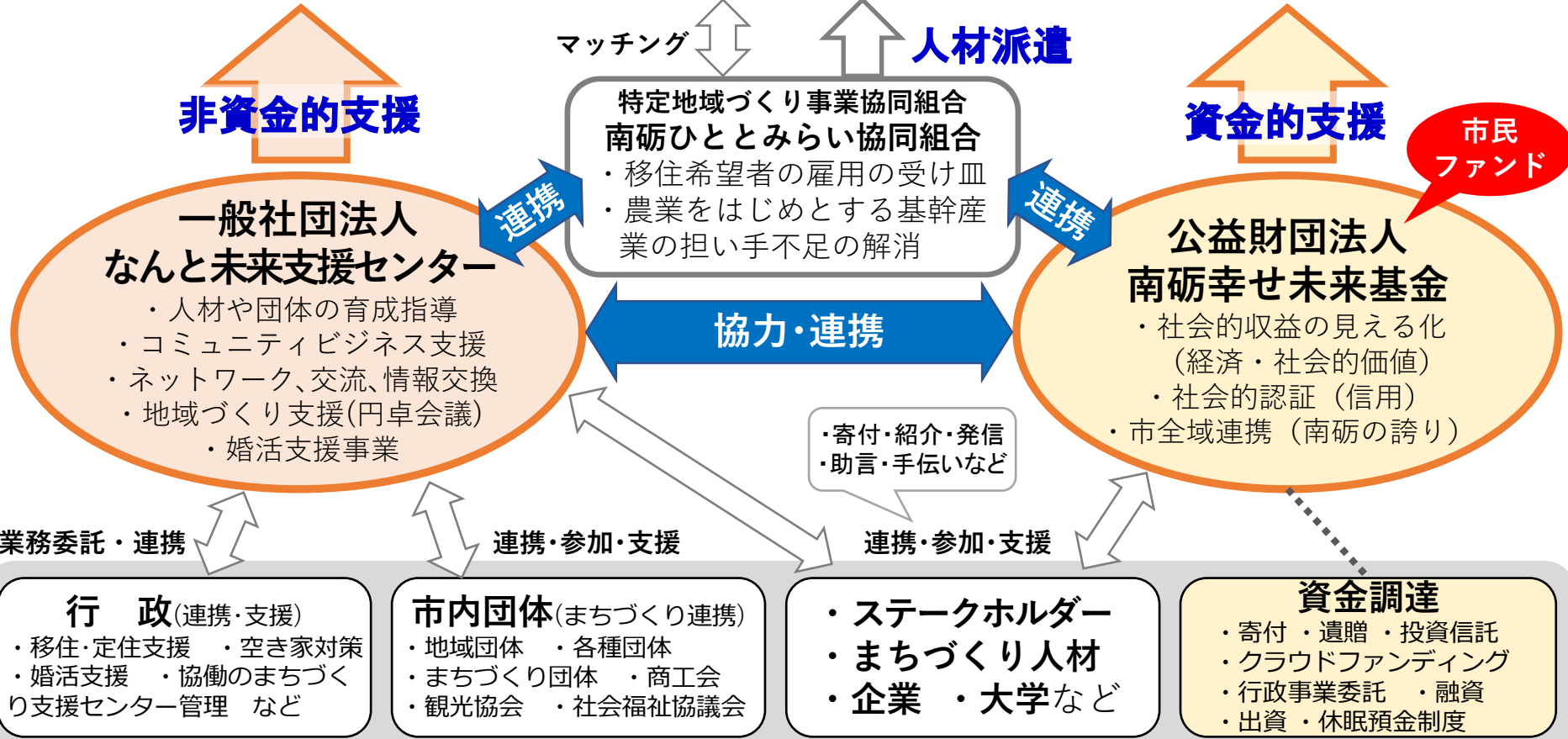
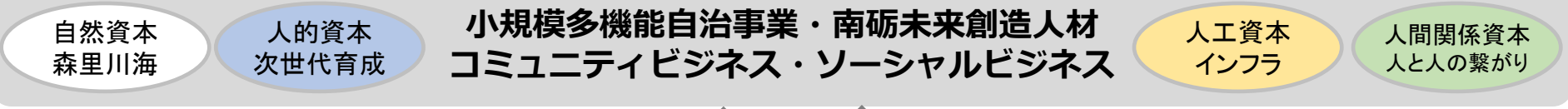


パートナーシップで住民自治を支える

三つの分野をつなぐ統合的取組

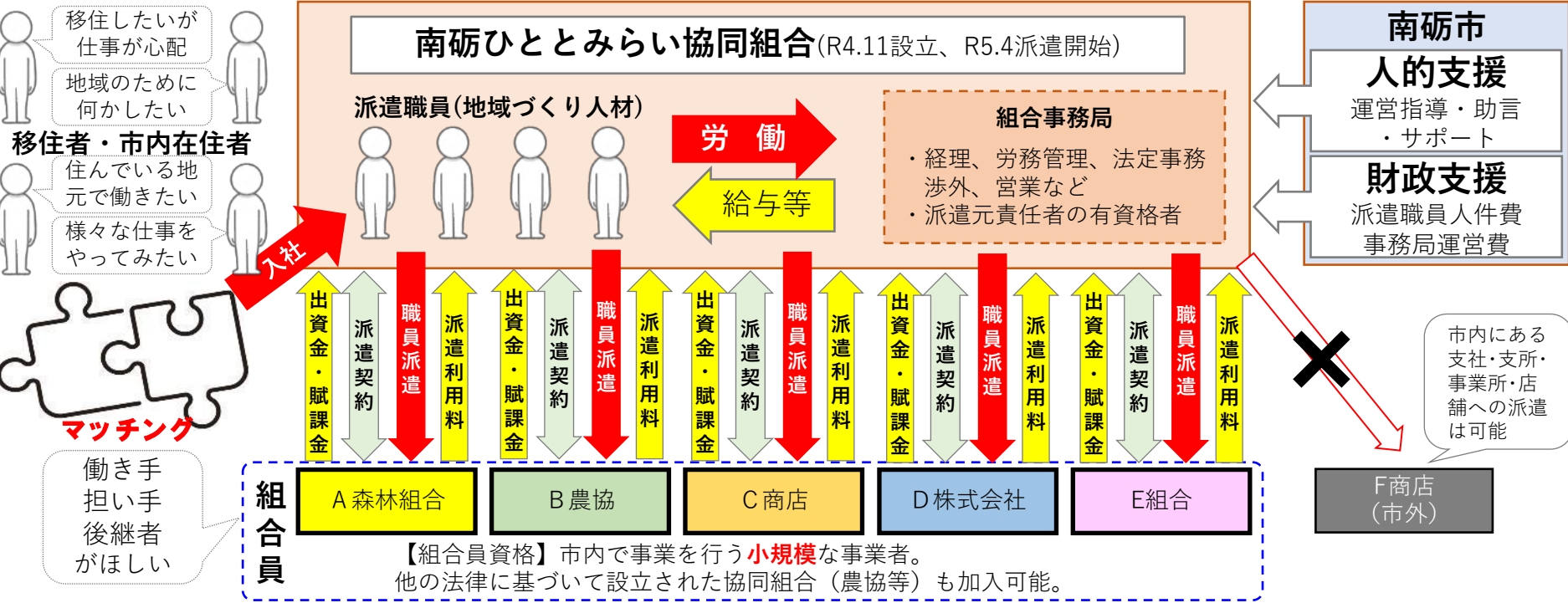


南砺市では、まちづくり中間支援組織が、市民や地域の活動を支えています。地域で活動される方や自立へ取り組む地域を支え、**支え合う地域の力を育て**、地域資源を活かした活動や地域が抱える諸課題を解決する活動が成果につながるよう、連携して市民を支援しています。



特定地域づくり事業協同組合(中小企業法・労働者派遣事業)

人手が足りないが季節的労働が多く通年の仕事がない事業所と、移住を希望する方や地域で仕事がしたい方をつなぐ、地域密着型のマルチワーク(多業)を行える、新しい働き方ができる仕組み。



派遣イメージ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A	林業(木製品加工)			娯楽業(日帰り温泉)			食料品製造業(かぶらずし)			娯楽業(スキー場)		
職員B	農業(米、南瓜、蕎麦、みょうが、赤かぶ、五箇山ぼべら等)						林業(木製品加工)			娯楽業(スキー場)		
職員C	食料品製造業(企画) / 農業(ニラ・いちご)						娯楽業(日帰り温泉)			娯楽業(スキー場)		
職員D	農業(米、いちご)			娯楽業(キャンプ場)			食料品製造業(かぶらずし)			コンクリート製品製造業		



なんと未来創造塾



- ・地域課題を**ビジネスで解決**する（地域と企業がwin×winの関係に）
- ・外部人材への依存ではなく、「稼ぐプレイヤー」を**地域で創出**
- ・地域が生き残るため、**地域の中**から新しい価値を生み出す**創業**を支援



学ぶ

地域のことを知る！
地域の**課題**って何？



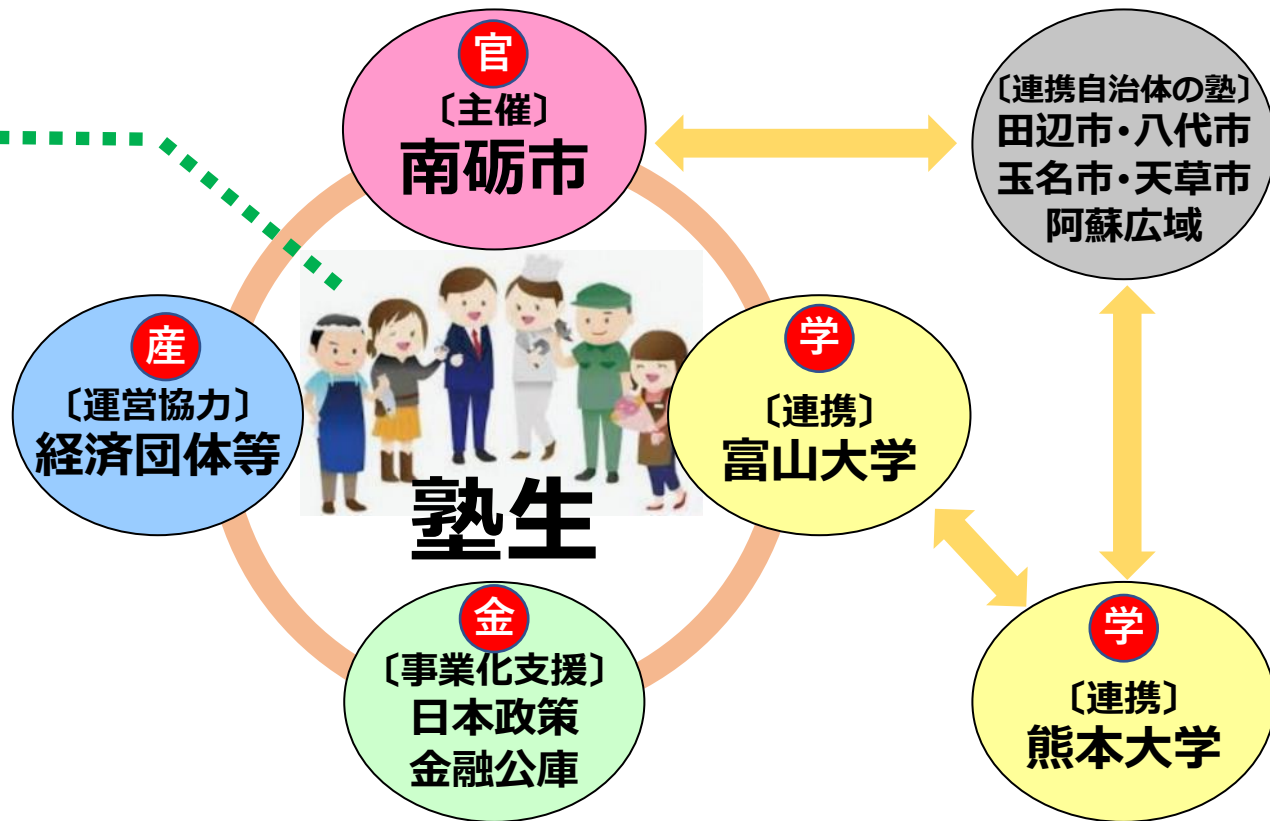
考える

自分たちで**考える**！
解決する方法は？

塾生それぞれが
事業コンセプトを発表

発表後

- ・収支計画等の詳細を**ブラッシュアップ**
- ・コンセプトから実現に向けて**支援**



地域での取組事例

ブック∞カフェすけろく(平地域づくり協議会)

地域住民・地元高校生 × 空き家 = ブック∞カフェ

- ・ 地域住民による未来を考えるワークショップを開催（金沢大学の協力）
- ・ 地域の子どもから大人までが集まれる居場所がほしい
- ↳ 空き家になっていた民家の無償提供があり、ブック∞カフェが実現
- ・ 地元の平中学校、南砺平高校の生徒が活用アイデアの提案、改修に協力
- ・ 令和5年5月開業、ブログは高校生が担当



ふくみつつ (南砺市福光)

地域資源 (ひと・もの・こと) × 空き家 = 地域の居場所

こども、高齢者、障がい者、外国人、生きづらさを抱える人たちが、地域で幸せに暮らし続けられるよう、地域での居場所づくりをしている市民団体。地域のきずな、つながりを大切にしている。



2022 2022
ふくみつつ DRIVE
「食べもの Food & 子ども用品 Child」
持ち寄る日 12/2・3・4 11:00~16:00
配る日 12/10・11 11:00~16:00
あなた ふくみつつ 個人・福祉団体など
受付できるもの
・食品で保存できるもの、賞味期限まで2ヶ月以上あるもの
・(子ども用品)
・清潔なもの(下着×)、安全で破損していないもの、サイズなどの商品表記がわかりやすいもの
〈お問い合わせ〉
ふくみつつ
090-3296-5843
富山県南砺市福光1305-4

フードドライブ



2023
第5回 蚤の市
4月8日(土) 9日(日) 11:00~16:00
第4回小矢部リバーサイド清掃を一緒にやりませんか?
9日(日) 14:00~ノリノリcleaning
「推しの匠たち」
salon122 大町区民会館のみなし
38 Leatheworks 手縫いの道場
上ツ漆 農具社づくりの工房
食のselects 食の味を大切に
ふくみつつBASE
遊具品 折り紙・粘土
オートミール クッキー
コーディネート シューズ 折り紙 茶 袋
ふくみつつ 福光カレー
ふくみつつ 福光カレー

交流イベント



衣類や学用品などの不用品市

地域の「ひと・もの・こと」をつなぐことで、
交流と循環が生まれ、地域の活性化となっている。

Re・なんと (株)林商店

未だ価値がある不用品を無料で回収し、必要な方々に再利用してもらうための拠点が令和5年10月にオープン。リユースを通じて、**循環型社会の構築**を目指します。



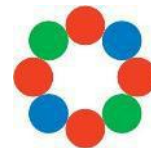
市役所庁舎駐車場の
空きスペースを活用



なんと未来創造塾での提案事業が実現!



2030年までに実現したいこと



(第2次南砺市総合計画)

【将来像】

【目指すべきまちの姿】

【全分野へ横断的に関わる4つの観点】

誰ひとり取り残さない

誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ

未来に希望がもてるまち

[教育、成長、学び、子育て、結婚]

目標 将来を担う世代の育み

多様な幸せを実感できるまち

[地域包括ケア、地域活動、多様性の容認、ジェンダーギャップの解消]

目標 幸福度の向上

心豊かな暮らしができるまち

[ライフスタイル、交通、しごと、働き方、移住・定住]

目標 暮らしやすさの実感向上

皆で考えともに行動するまち

[まちづくり、情報公開・発信、誇り]

目標 シビックプライドの醸成

4つの観点を総合的に各施策へ反映

SDGs達成に向けた取組

南砺市SDGs未来都市計画と連携した南砺市らしいライフスタイルの提案

Society5.0への対応

未来技術の活用 (Society5.0) による地域の利便性向上の支援

地域づくりへの新たな取組

持続可能な地域づくりに取り組む住民団体との一層の連携

地域にあるストック資産の活用

地域にあるストック資産(空き公共施設や空き家、空き地等)の有効な利活用

ご清聴ありがとうございました



SDGs 未来都市
なんと

南砺市版SDGsロゴマーク